

おきたま 社会教育情報

Vol. 147 令和4年12月号

自作視聴覚教材コンクール表彰式・作品鑑賞会

12月3日（日）、南陽市沖郷公民館において令和4年度置賜地区自作視聴覚教材コンクールの表彰式・作品鑑賞会を開催しました。

今年度は、学校教育部門1作品、児童・生徒作品部門2作品、社会教育部門1作品の合計4作品の素晴らしい作品を出品いただきました。表彰式後には、今回のコンクールで特選に選ばれた「ふるさとの民俗芸能 でんでこ舞」を上映し鑑賞会を行いました。

今年度は応募作品数が少なく、例年より寂しい表彰式となりましたが、今まで県や全国の自作視聴覚教材コンクールで素晴らしい成績を収めてきた置賜の誇りを絶やすことなく、次年度以降もたくさんの作品を応募していただけるよう、情報提供に力を入れていきたいと思っております。

令和4年度の受賞作品は以下の通りです。



受賞おめでとうございます!!

| | | | |
|-----------|----|-------------------|-------------------|
| 学校教育部門 | 入選 | 「若き鷹たち」 | 長井市立図書館 |
| 児童・生徒作品部門 | 入選 | 「三沢の? (はてな)」 | 米沢市立三沢東部小学校 |
| | 入選 | 「三沢東部小学校の学校林について」 | 米沢市立三沢東部小学校 5, 6年 |
| 社会教育部門 | 特選 | 「ふるさとの民俗芸能 でんでこ舞」 | 南陽8ミリクラブ |

アクティブ チャイルド プログラム(JSPO-ACP)をご存じですか?

子どもたちが楽しみながら積極的にからだを動かせる。それがアクティブ・チャイルド・プログラム(JSPO-ACP)です。日本スポーツ協会が開発した運動プログラムで、それぞれの発達段階において子どもが身につけておきたい動きを習得できるよう工夫されています。

山形県スポーツ少年団置賜地区協議会では、アクティブ・チャイルド・プログラムの普及を目指して、指導者・育成母集団研修会(兼 ACP 普及促進研修会)を12月10日(土)に南陽市民体育館で開催しました。地区内外のスポーツ少年団の指導者など、64名の方々に参加いただきました。前半の理論編は、東京学芸大学の佐藤善人教授が講師を務め、後半の実技編では、地区協議会の瀧澤孝次氏、寒河江寿樹氏、森和也氏が講師を務めました。参加者からは、「競技力向上を目指す前段階から、からだを動かすことが好きな子どもたちをたくさん増やしていくことが自然と競技力向上につながり、生涯スポーツにつながる」「実際に実技をしてみても、疲れよりも楽しいという感情の方が大きかった。やはり、指導者側も子どもたちも楽しんでやるのがとても重要」などの声が寄せられました。来年度も多くの参加をお待ちしております。



ポッチャを通して広がる輪、共生社会の実現を目指して

12月17日(土)、飯豊町立第一小学校体育館を会場に、置賜地区スポーツ推進委員協議会実技研修会を開催しました。今年はパラスポーツのポッチャをテーマとし、山形県障害者スポーツ指導者協議会から7名の講師をお招きして開催しました。今回の研修会は、ポッチャのルールを学ぶだけでなく、障がいをお持ちの方とともにプレーを楽しむ中で障がいについての理解を深め、スポーツ推進委員が目指す共生社会への足掛かりとすることも目的でした。そのため、講師の方々にはスポーツ推進委員とともに各コートに分かれて一緒にプレーしていただきました。試合が進むにつれて、各コートからは自然と歓声が上がり、参加者の貴重な交流の場となりました。老若男女、障がいの有無を問わず楽しめるポッチャ、ぜひ様々な催し物に取り入れてみてください。



参加者より

- ・健常者と障がいをお持ちの方が一緒にプレーできる貴重なスポーツで、スポーツとしてもとても楽しかったです。
- ・県障害者スポーツ指導者協議会の方々の絶妙なプレーを見ることができて大変楽しかったです。また、今まで障がい者の方と一緒にスポーツをすることがなかったので、今回は大変勉強になりました。

次世代の地域づくり中核人材育成事業 おきボラ地域クリエイター-beyond実践発表会

12月18日(日)に、旧長井小学校第一校舎(長井市)にて、標記実践発表会が行われました。この事業は、置賜在住の高校生たちが地元の「魅力ある人、モノ、場所」を体当たりで取材し、その魅力やすばらしさをSNSや実践発表会を通して発信しようという事業で、今期で2年目となります。

6月に参画者の募集を行い、様々な高校から集まった5名の高校生が、地域づくりに精通している3名の青年ファシリテーターのサポートを受けながら取材に向けての準備を重ねました。今年度の取材先は「イチョウカフェ(南陽市)」、「三淵溪谷通り抜け参拝(長井市)」、「ダリヤ園(川西町)」の3箇所が決まり、高校生自ら担当者にアポイントを取り、取材に伺いました。インタビューの内容等も事前に協議し、地域の活性化に取り組んでいる地元の皆さんの想いや、高校生から見た置賜の魅力を熱心に取材することができました。

発信の方法は実践発表会とInstagramの2つでしたが、次世代事業の集大成として行った今回の実践発表会では、取材で訪れた3箇所の魅力を存分に伝えることができました。また、取材時にスマホで撮影した画像や動画をInstagramの専用アカウントにアップし、若い世代に広く発信も行いました。下にInstagramのQRコードを掲載しておりますので、取材時の様子や高校生が作成した発表スライドなどを是非ご覧ください。



OKIBORA1

フォローお願いします(*^*)

※本情報紙の本文は、UD(ユニバーサルデザイン)デジタル教科書体を使用しております。

【お問合せ先：置賜教育事務所社会教育課 Tel. 0238(88)8242】